

# まさるこ 新聞



## 健康な生活を守るには地球環境悪化を見過ごせない時代の到来

衆済会 理事長 増子記念病院 院長 両角國男

名古屋の夏は湿度も高く酷暑として全国的に知られています。増子記念病院で治療中の多くの皆さんの育った時代はこんなに暑かったでしょうか？私にも思い出がありますが、縁台に座り団扇の風が心地よい夕方に家族と談笑していました。エアコンなしでも問題なく過ごせた時代でした。

最高気温が35℃を超す日が猛暑日ですが、1970年から1990年までの名古屋の猛暑日は年に5日程度でした。2000年頃から15日程度と増え、2020年以降はさらに増え50日を超すようになっています。気象台の報告する気温と市街地温度は差がありもっと高く40℃以上になっています。熱中症で救急搬送される患者数は激増し日本全体で10万件に迫り20年前の5倍となりました。今の名古屋でエアコンなしに健康維持するのは困難です。軽い熱中症は冷却と水分補給で治りますが、悪化すると入院治療が必要になります。最悪の場合には、腎機能低下、脳や全身性病変を合併し死亡します。



どうすれば熱中症は防げるのでしょうか？重要なのは5月頃からの暑熱順化、暑さに体を慣らしていくことで、軽い運動や入浴で健康な汗をかくことです。高齢者や透析患者さんは体内水分量が減少し、発汗も減るため、熱中症リスクが高くなります。また、暑さを感じづらい傾向になりますが、酷暑期にエアコン使用しないで部屋の中で生活することは危険です。年齢が高くなるほど健康を意識した日常生活が重要です。

なぜ急激に気温は上昇したのでしょうか？100年前に比較して地球の平均温度は1℃以上高くなりました。わずか1℃と思われるでしょうが、この1℃の上昇で南極や世界の氷河が解け始め海面も上昇してきました。その原因は地球温暖化の進行で、地球から熱の放出を妨げる温室効果ガス（二酸化炭素、フロン類、メタンなど）が産業活動で排出された結果です。脱炭素、カーボンニュートラル活動の一環でリサイクルや使い捨て減少などを皆さんも行っていると思います。地球環境悪化は、生物が地球で生き続けるための待ったなしのレベルまで追い込まれて、世界中で取り組むべき課題です。

医療の中でも脱炭素に取り組んでいますが効果を挙げるには時間が必要です。最近の中東紛争は医療機器を含む石油由来プラスチック製品の供給を不安定にしました。遠く離れた国の戦争が我々のみならず世界各国で社会に悪影響をもたらします。しかし、こうした予測不能な状況のなかでも医療関係者は皆さんと日本の医療を守るため取り組んでいます。増子記念病院関係者も精いっぱい努力しています。皆さんもご自身とご家族の健康を守るために必要なこと、地球環境を守るためにできることにご協力ください。

## 当院医師のご紹介

増子記念病院、増子クリニック昂で腎臓内科の診療に携わる  
森弘卓延先生、村田実奈子先生、水谷南美先生をご紹介します

### (増子クリニック昂 森弘卓延先生)



このたび、4月より衆済会の一員として「増子クリニック昂」に入職いたしました、森弘 卓延(もりひろ たかのぶ)と申します。昭和40年4月生まれの61歳、出身は四国・香川県(うどん県)です。名古屋に移り住んで早くも25年が経ちました。最初の18年間は衆済会増子記念病院に勤務し、腎代替療法について専門的に学ばせていただきました。腎代替療法を必要とされる方々お一人お一人の人生に寄り添い、その方に合った医療を提供することの大切さを学びました。その後、名鉄病院にて腎臓内科兼透析センターに所属し、透析療法を受けられている方が合併症を発症された際、2次救急病院である名鉄病院で受入れが可能となるよう、透析センターの立ち上げを行っていました。

人生の終盤を迎えるにあたり、これまで培ってきた経験を活かし、少しでも多くの腎代替療法を必要とされる方々の人生がより良いものとなるよう尽力してまいりたいと思い、衆済会が掲げる「患者とその家族、スタッフとその家族の幸せのために」という理念のもと、微力ながら貢献していきたいと考えています。

名古屋に出てきて右も左も分からなかった頃、大変お世話になった山崎親雄先生と伊藤晃先生が築かれた「増子クリニック昂」に再び戻ることができたことを心から嬉しく思います。また、そのためにご尽力くださった両角國男先生をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。これから何卒よろしくお願い申し上げます。

### (増子クリニック昂 村田実奈子先生)

クリニック昂に赴任し5年目となります村田実奈子(むらた みなこ)と申します。名古屋生まれの名古屋育ちで、名古屋大学卒業後、公立陶生病院で初期研修を行いました。その後日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院で腎臓内科医として勤務し、腎炎や急性腎不全、慢性腎不全、維持透析中の患者さんの診療にあたっていました。その後2022年4月よりクリニック昂で勤務しております。

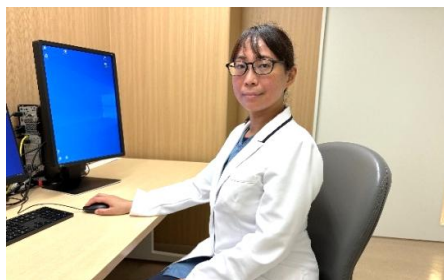


昂に赴任した際、透析歴の長い患者さんが多いことに驚きました。また週三日通院される中で、患者さんとスタッフとの間に大病院には見られないつながりがあることも感じ、透析施設はただの医療施設ではなく、患者さんを全人的に支える場所であると強く感じました。

診療においては、患者さんがずっと元気に透析療法を続けていけるよう丁寧な診断と治療を行うこと、患者さんの思いや社会背景等も踏まえた上での最善の診療を行うことを心がけています。また、透析医療はどんどん進化しています。最新の情報をキャッチして患者様の診療に活かせるよう、日々の研鑽も怠らず続けていきたいと思っております。

最近ジョギングを始め、昇る朝日を眺めながら走るのが休日朝のひそかな楽しみです。今年3月に行われた名古屋シティマラソンでは、ナゴヤRun(7.758km)の部に出場しました。これからも趣味として文字通り走り続けるとともに、よりよい診療ができるよう走り続けてまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

### (増子記念病院 水谷南美先生)



令和8年4月より増子記念病院に入職しました水谷南美(みずたに みなみ)と申します。岐阜県岐阜市出身で、平成22年に富山大学を卒業後、富山大学医学部附属病院で初期研修を行いました。その後は富山市内で腎臓内科医として勤務をしていましたが、平成26年からの2年間、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の腎臓内科へ国内留学する機会をいただきました。いっそう腎臓病診療の魅力に触れ、このときの経験が腎臓内科医としての自身の中核を涵養し続けていると感じています。

平成30年より6年間は名古屋市立大学医学部附属東部医療センターで腎臓内科医として勤務させていただきました。ベッド数2床だった透析室が最終的には8床となり、様々な疾患で入院治療を受けられる透析患者さんや、新たに腎代替療法と歩む患者さんとの関わりで多くのことを学ばせていただきました。令和6年には娘が産まれて退職し、産後の2年は千種区や名東区の透析病院で、慣れぬ子育てとの両立に試行錯誤しながら働かせていただきました。

現在は久しぶりの外来診療や入院管理に悩みながらも、優しく頼りになる先生、スタッフの皆さま方の助けをかりて何とか頑張っているところです。入院や受診を機会に患者さんの生活がよりよいものになるように、患者さんやご家族に「ここに来てよかったな」と思ってもらえるように精一杯診療に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

## チーム医療センターの活動紹介 ～医療ソーシャルワーカーの役割～

慢性腎臓病(CKD)の治療は長期にわたることが多く、患者さんやご家族は、医療費や生活、介護など様々な不安を抱えることがあります。

私たち医療ソーシャルワーカーは、不安に寄り添い、安心して治療を受けられるよう、様々な相談に対応しています。患者さんやご家族の思いに寄り添いながら、一人ひとりに合った制度や支援を一緒に考えます。

今回は、皆さまからご相談いただくことが多い制度の一例をご紹介します。

「医療費の支払いに不安がある」  
「ヘルパーに買い物をお願いしたい」  
「歩行器や手すりを使いたい」  
「こんなことを相談してもいいのかな？」など、  
どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。



### ● 身体障害者手帳について

腎臓機能障害による身体障害者手帳には、1級・3級・4級の3つの区分があります。血液検査で「クレアチニン」値が3.0mg/dLを超える、または「eGFR」値が20未満、「内因性クレアチンクリアランス」値が30mL/分未満となった場合は手帳を申請できる可能性があります。手帳の申請には、都道府県が指定した「指定医」による診断書が必要になります。「自分は対象になるの?」「手続きが難しそう」と思ったら、診察時や看護師、受付職員などに「手帳の申請について知りたい」とお伝えください。医療ソーシャルワーカー(4名在籍)が、制度や手続きを詳しくご案内します。

#### 【身体障害者手帳を取得した場合に利用できる制度】

- ・ 医療費助成制度:等級や自治体によって異なりますが、医療費の自己負担額の一部もしくは全額が助成されます。※名古屋市の場合は所得制限がありますが該当すれば医療費は無料になります。
- ・ ほかに、税金の控除、公共交通機関の割引などがあります。



### ● 介護保険制度について

介護や支援が必要な方が介護サービスを利用するための制度です。

#### 【対象となる方】

65歳以上の方

40歳～64歳の医療保険加入者で、特定の病気がある方

(例:糖尿病性腎症など)

#### 【主なサービス例】

福祉用具: 手すりの設置、歩行器・介護ベッドのレンタル

ヘルパーの利用: 買い物・掃除・入浴介助などのお手伝い

その他: デイサービス、配食サービスなど



## 認知症のこと ～早く知ることが安心につながる～

認知症・せん妄サポートチーム 今井さやか

「認知症って言われたらどうしよう…」そんな不安はありませんか？  
周りの人に言われたり、自分で自覚があっても、受診することを躊躇してしまいますよね。  
でも、大丈夫です。早めに受診して今の状態を知ること、適切な対処やサポートにつながります。  
認知症でなかったとしても、不安の原因がわかるだけで気持ちはぐっと楽になります。

### ●こんな変化ありませんか？ チェックしてみましょう！

- ☐ さっき聞いた話を、もう一度聞いてしまう
- ☐ 財布や鍵を「置いたこと」ごと忘れて探し回る
- ☐ 料理の手順や順番が、わかりにくくなった
- ☐ 言いたい言葉がすぐ出てこないことが増えた
- ☐ 約束したこと自体を忘れてしまう
- ☐ 同じものを何度も買ってしまう
- ☐ テレビの内容が頭に入りにくい

→ 1つでもチェックがあれば、相談のサインです。

早く知るとは、これからを安心して  
過ごすための一歩です。  
気軽にスタッフへ相談しましょう！

### 👉 早めに相談するメリット

- ・生活習慣の見直しで、
  - ・早めの対応で、
  - ・原因がわかることで、
  - ・今の状態を知ること、
- ➡
- ・改善する可能性があります。
  - ・進行をゆるやかにできることがあります。
  - ・不安が軽くなります。
  - ・これからの生活を安心して考えられます。

### ご家族の方へ

ご本人よりも、周りの方が  
変化に気づくことがあります。  
「少し気になる」と思ったときは、  
やさしく声をかけて一緒に相談  
してみましょう。



「私たちがチームでサポートします！」

「ますこ・すばる新聞 令和8年度夏号」 発行元：増子記念病院 広報委員会（令和8年7月発行）

#### 医療法人 衆済会 増子記念病院

〒453-8566  
名古屋市中村区竹橋町35番28号  
TEL:(052)451-1307 / FAX:(052)451-1324

#### 増子クリニック昇

〒453-0856  
名古屋市中村区並木1丁目322番地  
TEL:(052)412-8211 / FAX:(052)414-2962